

# まちづくりワークショップ in 守山市民活動屋台村意見のまとめ

## 元気な「守山っ子」を育てるために

目標：人間力のある、自律（立）した子どもを育てる

具体策：・ 地域の場所の活用（小学校、寺、神社など）

- ・ 体験、冒険を通して楽しむ！
- ・ 人がかかわり合う！

地域活動への参加が大切！

【中学生以上×】

- ・ 学校では、子どもたちがそれなりに交わり、活動しているが、地域に帰ると無くなる。（塾通いやレッスン、クラブ活動）
- ・ 生涯にわたって横のつながりが形成されるように、異年齢による集団活動に力を注いでやれないかと思う。
- ・ 中学生以上になると、地域との関係がない。（小学生まではある）
- ・ スポ少には親の参加が不可欠。片親の子の受入は。そのスポ少の余力って？
- ・ スポーツクラブは？それによって横のつながりが強化されるから。

【積極的に！】

- ・ こういう会に教育従事者の参加を！
- ・ 市内の児童・学生のスポーツや絵、音楽などの交流の催しを活発に行うようにする。

【地域の人のつながり】

- ・ 子どもたちと地域のイベントを楽しむ。
- ・ 子どもも高齢者も（地域の人みんなが対象）ラジオ体操！
- ・ あいさつができない子どもが多い。
- ・ 地域でのコミュニケーションを深めよう。世代問わず。

関わりたいが、地域の人には学校に入れないのが課題

【交流 放課後関わりたいが・・・】

- ・ 小学校やこども園の中へ地域の者が入れない現実がある。その一方で老人クラブの幼児との交流会がある。
- ・ ひとりひとり認めた居場所。例えばひとり暮らしのおじいちゃんおばあちゃんが、放課後の子どもと一緒に過ごす。

元気な守山っ子を育てるための教育って何をさすの？

【自信がない？】

- ・ 先生も子どもも大きな声を出そう。
- ・ 教育において教員側からただ知識を伝達するのが現状 言われたことが本当か確かめるため、外に出て実習を行う（課外活動、文化施設を訪ねたり、人々にインタビューしてみる）自分の目で確かめさせる機会をつくる！！

【家庭での教育】

- ・ 親が子どもの時の気持ちを思い出して子育てしているのかなあ？自分がいやなことはこどもにもしない。当たり前。

学校と家庭のつながり—限界がある。



## 子どもが忙しい？

- ・現在の世相は個人中心（主義）故に孤立化が進んでいる様に思う。
- ・家族の絆を深める（祖父母 父母 子）

住んでいるまちの良さを知ろう！

### 【活気 若い人はどこへ？】

- ・地域のことを知らない子どもも多いのでは？
- ・大人になった時にまちへの愛着を持った人になってもらえるかが不安。
- ・自治会の子育てサロンを拡げ、お母さん支援を全自治会に拡げる。
- ・祭りのとき、ポテンシャルの高さを感じた。
- ・子どもに、守山に住んで良いまちだと思えるような場所にする。（住んでもいまいち良さがわからないことが多い。） 公園等に溜まり場を設置して、そこで守山市の特色に関する掲示板をつけたり、年配の方が教えたりする。
- ・中学生・高校生のチャレンジラリー 遊びながら、まちのチェックポイント。通過を証明する。ゲーム感覚で。

## 公園・子どもの溜まり場を活用する

### 【人をつなげる】

- ・公園活用の企画展を開催する。公園の活用をもっともっと。
- ・冒険遊び場（世田谷プレイパーク）のような公園。住民の手で・・・プレイリーダーの養成。
- ・公園は？集まれる場所がないとゲームばかりに。

協調性・リーダー・調整能力・  
コミュニケーション力

### 【体験させる】

- ・私の夢は、公園に外遊びリーダーを常駐してもらって、小学生が外遊びが楽しいと実感できる体験をさせたい。

### 【リードする人材が必要】

- ・地域の中の子ども同士が交わる機会が少ないからであり、大人がリードしないと遊べない現実がある。この点に目を向けるべき。

地域の仲間

### 【誰がしかける？】

- ・高齢者 子育て支援 障がい者 すべて人権がベース。福祉

他人任せでなく、自分で行動できるようになる！

- ・自立、自律
- ・自立した子どもに育てる必要がある。

大人もしっかりと  
しなきゃ！！

# お年寄りや障がい者が安心して元気に暮らせるまちづくり

## 偏見をなくす！ 啓発をする！！

### 障がい者と市民との交流と理解を促進するために

- ・ すべての人を楽しめる（年代別）障がい者イベントの充実
- ・ 障がい者・一般も誰でも参加できるイベント
- ・ 障がい者の年齢（代）別のイベントの充実
- ・ 障がい者の対応できる企画イベントを市民からの意見により考えて開く。

### まずは人づきあいの基本が大事

- ・ 笑顔と愛嬌で挨拶を自分からしていこう。
- ・ お互いが声を掛け合う、なごやかな地域を作りあい、顔見知りの多くいるまちに。

### 自治会館を利用して、居場所づくりを！

- ・ 公民館・自治会館の開放と援助の助力（人・費用を）
- ・ 自治会間で交流をする。（高齢者）
- ・ 自治会の行事の企画に若者の参画を促す（年寄りだけで決めない）
- ・ 居場所づくり（自治会館で） 認知症キャラバン
- ・ （精神）障害の居場所が不便なのと来年5月末で借家契約が満了するので代替場所の確保に行政と協力して探している。
- ・ 各自治会館に高齢者のいこいの場所がほしい。



### 居場所はなぜ必要なの？

- ・ 悩みを全てさらけ出せるのが居場所
- ・ 気楽にいられる場所がほしい。
- ・ 誰かと話したい。
- ・ ほっとできる場所がほしい。

### 地域でお互いに見守りあうべき

- ・ 声かけも積極的に！！（一人暮らしが多くなる）
- ・ 一人暮らし高齢者見守り隊（自治会単位）
- ・ 老老家庭の見守りをする。
- ・ 安心お助け隊のネットを全市に（全学区に張りたい）

### 高齢者・障がい者も安心・安全に出歩けるまちづくりを実現する

- ・ 自動車・自転車が通らない「歩行者専用通路」を町内に作り、安心して動けるように。
- ・ 行動しやすいキラクな足を実現して。
- ・ 救急装置を（ボタン・箱・ランプ）街角に。

## 障がい者の教育（スポーツ）・自立の支援をしてほしい

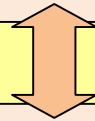
### 【障がい者が肥満にならないまちづくり】

- ・ 障がい者にも教育の機会の提供を。
- ・ 就労移行支援事業所ができるといい。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの中に、障害者に特化したグループを先ず1つ発足してほしい。（モデルケース）
- ・ 障がい者がいきいき働ける作業所の設置

## ボランティア

### ボランティアによる企画を充実させよう！

- ・ 障がい者スポーツで、市が行われる事業が「型」にはまらないスポーツイベントの企画を提案。市民が提案。
- ・ 障害者の居場所づくりと老人の健康づくり・生きがいづくりをタイアップさせる取り組みが必要ではないか。
- ・ 居場所づくり。楽しい企画を募集する。



### ボランティアスタッフの充実も必要！

- ・ 障害者の居場所としてのサロンを毎日日曜に開催しているが、スタッフ不足で運営が困難となっている。
- ・ 精神障害者向け居場所スタッフ不足解消のための「心のボランティア講座」が開講された（幾度もなく要望することで）が毎年継続してゆくことが大切。

### ボランティアを気楽に使える仕組みを作ろう！

- ・ ボランティアの振り分けをできる機関をつくりたい。
- ・ ボランティアの登録をして調整してほしい。
- ・ 福祉施設等を重点的にボランティアをしています。今後ももっともっと幅広く楽しんでいただき、会として益々充実するよういろいろ考えています。
- ・ ボランティア活動を通じて、もっと利用者の方々とお話ししたいと思いますが、時間がなく、何とかできないか考え中です。
- ・ ボランティアに必要な資金の調達
- ・ ボランティア協力者 確保が大変。

## そのほかに

- ・ 守秘義務の問題（行政は敏感）
- ・ 高齢者居場所の市内マップを作成
- ・ 政策ごとに市の担当者を決める。
- ・ 守山市民病院に精神科を設ける（精神疾患が五大疾患に入った）
- ・ 市役所の中の横のつながり イベント等重なっている 調整する課がない。

# 身近に文化やスポーツに触れられる環境づくり

## キャッチフレーズ：既存施設の有効利用と活性化

### 地球市民の森を有効活用できるように

- ・ 地域管理者にする（職員から）
- ・ 植樹のあり方（もったいない）
- ・ 現職員より、地域管理者にする。
- ・ ウォーキングを行う者が多いが、足のためには地道 or 芝の上を歩くことが望ましい。ウォーキング道の確保
- ・ 維持管理の充実（予算化も含む）
- ・ 地球の森、歩道を車いす対応可へ
- ・ 地球市民の森を県から市に移管してもらい、運動広場（ソフトボール、サッカー場ができる程度）的な運動公園にする。管理等はスポーツ団体が自治会で行う。最小限の資材提供を受けボランティアで整備する。

### 運動公園を有効活用できるように

- ・ 速野地区ではベースボール、ソフトボール、サッカー等ができる場所が必要。
- ・ 身近でスポーツを行うには、リーダーの育成が大事。年齢にあったリーダーの育成を。
- ・ 自治会内にスポーツクラブ（誰でもできる）を考える。
- ・ 自治会周辺施設の活用（グラウンド・空き地など）
- ・ 総合型のスポーツクラブの充実
- ・ 地域スポーツクラブが結成されている所、未成立のところがある。参加しやすい種目を選定してほしい。
- ・ 近所でラジオ体操を毎朝して、お年寄りも参加。見守りをしている。

### 図書館が活性化するためには

- ・ もっと映画のPRを。
- ・ 広くボランティアの発表の場としては。
- ・ 休みを少なくする。
- ・ 地域公民館等の図書館に私物図書の提供等をすすめる方法は。
- ・ 本の数、種類を増冊。市民から寄付。
- ・ 図書館コンシェルジュの活用。見たい本の案内をしてほしい。PC 検索以外。展示会の開催を増やす。

### 駅前が活性化するためには

- ・ 守山市の玄関口を駅総を起点として人と人との絆の強化を図りビデオ等のツールを活用して世に情報を伝えて守山市の発展につなげる。
- ・ セルバの活用
- ・ 自主的に活動することの楽しさを体験できるイベント・交流会を。
- ・ **中心地ばかりの施設が多く、年齢が増すにつれて参加できなくなる。私の場合は駅東に会場場所等人口も増えている。**

### ネットワークを整備する

- ・ 歴史文化まちづくり館の内部に「守山偉人物語」守山提携都市（国内、海外）の歴史紹介、観光を

### 守山の独自の観光の推進を図る

- ・ 琵琶湖観光 守山市内のルートの確率をする。守山駅前、中山道のルートを確認する。
- ・ 桜の名所を作るに当たって、一人一株は市民にも協力できると思う。
- ・ 守山としての特色がない。野洲川沿いに桜の名所でも作ってほしい。（背割の桜 京都府等）
- ・ 観光エコツアー 弥生時代の生活体験エコツアー

### 遺跡を保存・整備する

- ・ 下之郷遺跡 学校、自治会単位での見学を推奨する。
- ・ 地域のは地域で管理、大切にす。
- ・ 守山検定の提案 伊勢遺跡、下之郷遺跡、服部遺跡と全国弥生遺跡（九州・奈良）をセットにしたもの（予算化必要）
- ・ ひとまとめにした資料館作りにした方がよかったのでは。守山の歴史、流れがわかりやすい。
- ・ 下之郷遺跡 展示会場の拡大、リピーターを増やす。将来を考えて場所拡大をする。

### 文化・スポーツ事業への提案

- ・ 駅東地区に公園がない。
- ・ 温水プールの整備

## ごみ減量対策

キャッチフレーズ： 生ごみの堆肥化 市民農園などとのドッキング  
分別の強化（資源ごみの回収を拡大するなど）  
不要物は買わない。もらわない。（スーパーの袋など）  
ごみカレンダーをもっとわかりやすく！！（新しい技術も記載する）

### ごみを有効利用するためには

- ・ コンポストの活用が不十分。再利用の啓発
- ・ コンポスト 自治会活用 農場 or 集積場 農家 or 市施設（循環型社会強化）
- ・ 生ゴミの堆肥づくりで庭や植木鉢の肥料に！！（家庭で堆肥づくり）
- ・ 生ゴミの堆肥化 利用方法 家庭菜園
- ・ 市民農園 / 公園とのドッキング
- ・ 資源化できる工夫・アイデア展を開催して、もっと啓発していく。
- ・ 環境センターで積極的に堆肥作り（生ゴミ、木、草）

### ごみの分別化を徹底的にする！

- ・ 分別すれば、資源！を徹底
- ・ [一般ゴミ]分別を強化（生ゴミ・資源ゴミの分別）することにより一般ゴミの少量化を図る
- ・ 生ゴミの分別化
- ・ 分別のカレンダーをもっと簡素化を
- ・ わかりやすい分別方法の徹底（ゴミ収集カレンダー）

### まずは市民にごみ減量対策の啓発が大切！

- ・ ゴミは資源 江戸時代を学べ
- ・ 市民意識を高める学習会（自治会単位）や、ゴミ減量委員（ボランティア）のような人の配慮を（自治会単位）
- ・ 資源化のプロセスを知らせる（どうリサイクルされるのか）
- ・ ごみ収集カレンダーを見て勉強（分別方法） ・ ゴミを増やさない取り組み（啓発）をする。
- ・ 捨てればゴミ（再利用しよう！） ・ 空き缶やペットキャップ等はお金になるという周知

### ごみを作らない努力をする

- ・ ゴミの元は持ち帰らない（買わない）
- ・ 回収日を少なくする 減量努力化 ・ 食材のゴミを減らす。余分なものを買わない。

### そのほかに

- ・ 市の環境課（ごみ減量対策課）と環境センターの見解の相違が理解しにくい。
- ・ 新しい技術の利用 化粧ビンの回収（臭い解消技術確立背景を活かす）
- ・ ごみ減量の一環として汚れた容器、汚れたプラマークの入れ物、ラップ等を水で洗剤を利用して洗って資源とした方が良いのか迷う。（環境問題の観点から）

# 守山の防災・減災について

キャッチフレーズ：「3日間を生きのびる」

・非常持ち出し品チェックリストにより準備できていますか？

(守山市防災マップ...HP、冊子) 水 1日1人3リットル

## 自治会（地域）での防火訓練を促進する

- ・ 防災訓練の日に、防災器具を使用して皆で見学・訓練をしている。消防署より来てもらっている。
- ・ 自治会連絡網の整備（有線加入率の低下）
- ・ 災害時要援護者の把握
- ・ 防災訓練の実施状況、進捗度、遅れている自治会の支援
- ・ 自火報の設置のできていない世帯へ取付のサービスを NPO していく。
- ・ 薬の情報は？
- ・ 年に2回自治会の防災訓練を実施している。（4月と12月）
- ・ **総合防災訓練の内容？不足している内容は？情報の開示**
- ・ 中学生の防災訓練参加（人数・・・データ？）
- ・ 先日、シナリオレス訓練があったが、私達は仁王立ち状態で何をしたいかわからない（実際になってみたら何かするとは思いますが） 何をすべきか知らせておいてほしい。
- ・ 防災訓練の場所をいつもきれいにしている。
- ・ 総合防災訓練とは？
- ・ 自治会・班単位で、高齢者 A さんの災害時救助の担当を決めておく。
- ・ 災害時の要介護高齢者の移動支援担当者を各自治会で検討する（今宿等では実施済）

## 災害にしっかりと備えることが大事！

- ・ キーワードとは 日頃の話し合い（今はない）・最悪の事態を想定・実践さながらの猛訓練
- ・ 飲料水の確保、井戸のマップ作り、旭化成への協力とシミュレーション
- ・ 要援護者の対応（運ぶ方法、リヤカー）
- ・ 伝言サービス 171 を家族で共有
- ・ 災害時の情報手段として IT が有効と思われるが、その時の IT ボランティアを募集しデータベース化しておくべき
- ・ 防災備品を（個人の）準備しているか

## そのほかに

- ・ 平日、昼間での災害対策体制の確認
- ・ 市 自治会 班へ「組単位で安否確認 + 今後の判断」をゆだねる旨の指導だけはしてほしい。
- ・ 自治会で約 10 軒に二人の班長を置きお年寄りを先導する。役目が決められている。
- ・ 避難所生活を事前に体験して問題点の洗い出しをしたい（行政が環境を整備してほしい）
- ・ 民生委員さんがどなたかわからない。
- ・ 原子力発電所の事故。滋賀、守山の測定値健康・・・子どもの

地域での温度差を解消しよう！